

エコノミストの海外派遣について

(昭和五省)

(イ) 出張者の官職及び氏名

労働大臣官房労働統計調査部
賃金調査課長
労働事務官
大宮 五郎

(ロ) 出張等の期間、出発及び帰國の期日

六月二十五日より向う三ヶ月間
六月二十五日 出発
九月二十四日 帰國

(ハ) 出張の目的

アメリカ合衆国における國民經濟と賃金問題の相關関係調査研究のため

(ニ) 日程の概要(千矢)

六月二十五日 羽田空港出発
六月二十七日 ワシントン着

ニューヨーク、アトランタ、マイアミ、セントルイス、
ダラス、デングワ、ロスアンゼルス、サンフランシスコ、
シヤトル、シカゴ、ピッツバーグ、クリーブランド、ボ
ストンにおいて調査研究

七月二十二日 ワシントン発
八月二十四日 羽田空港着

(ホ) 旅費の出所

政府保有外貨(エコノミストの海外派遣として經濟年度本部の
決算による割当)